

## 競技用靴に関する規程について（通知）

ワールドアスレティックス（以下、WA）は、2022年1月1日にWA競技規則TR5改正と新たに「競技用靴に関する規程（C2.1A Athletic Shoe Regulations）」についての導入を行いましたのでお知らせいたします。

公認競技会においては、「競技用靴に関する規程」の導入のポイントは以下の通りです。  
靴底の厚さなど基本的なシューズ規則に変更はありません。

### 1.競技会において全てのシューズチェックは行わなくて良い

参加選手はWA承認シューズリストのシューズを着用していることを前提とし、召集所や選手受付などで、参加者全員のシューズチェックを行う必要はない。

ただし、審判「シューコントロール・オフィサー」または「審判長」の権限により、いつでもシューズチェックをすることができ、参加者はその指示に従わなければならない。明らかに規則違反のシューズや疑義のあるシューズは、チェックや回収の対象になることがある。万が一レース後に違反が認められた場合には、失格となり記録が取り消される場合がある。

### 2.WAへ事前承認が必要となるシューズがある

以下に該当するシューズは、WAへの事前承認の上、競技会で使用することができる。

#### 既存靴

（WA承認シューズリストに掲載されているもの）一般購入可 WA事前承認不要。使用可。

#### 新しい靴

（WA承認シューズリストに新たに掲載される新作）一般購入可 WA事前承認の上、使用可

#### カスタマイズされた靴

※安全／医療上の理由に限定

※靴底、アッパー、スパイク追加等の改造

※取り外し可能なインナーソールなどの装具の挿入。

※ヒールレイズ、ヒールカップ、ブレース、ストラップの追加。WA事前承認の上、使用可

#### 開発段階の靴

※プロトタイプ、試作靴など 一般購入不可 WA事前承認の上、使用可

オーダーメイドの靴 唯一無二で一般購入不可の靴 使用不可

※一般購入可＝一般発売しており、誰もが購入することができることを意味する。

※WA事前承認は、製造メーカーからWAへ申請する必要がある。

※プロトタイプは、WAシリーズ大会やオリンピックでの使用はできない。

※オーダーメイドの靴：メーカーが「既存靴」「新しい靴」を基礎として競技者の注文に基づき製作された靴は含まない。

### 3.主催者への事前申請が必要となる場合がある

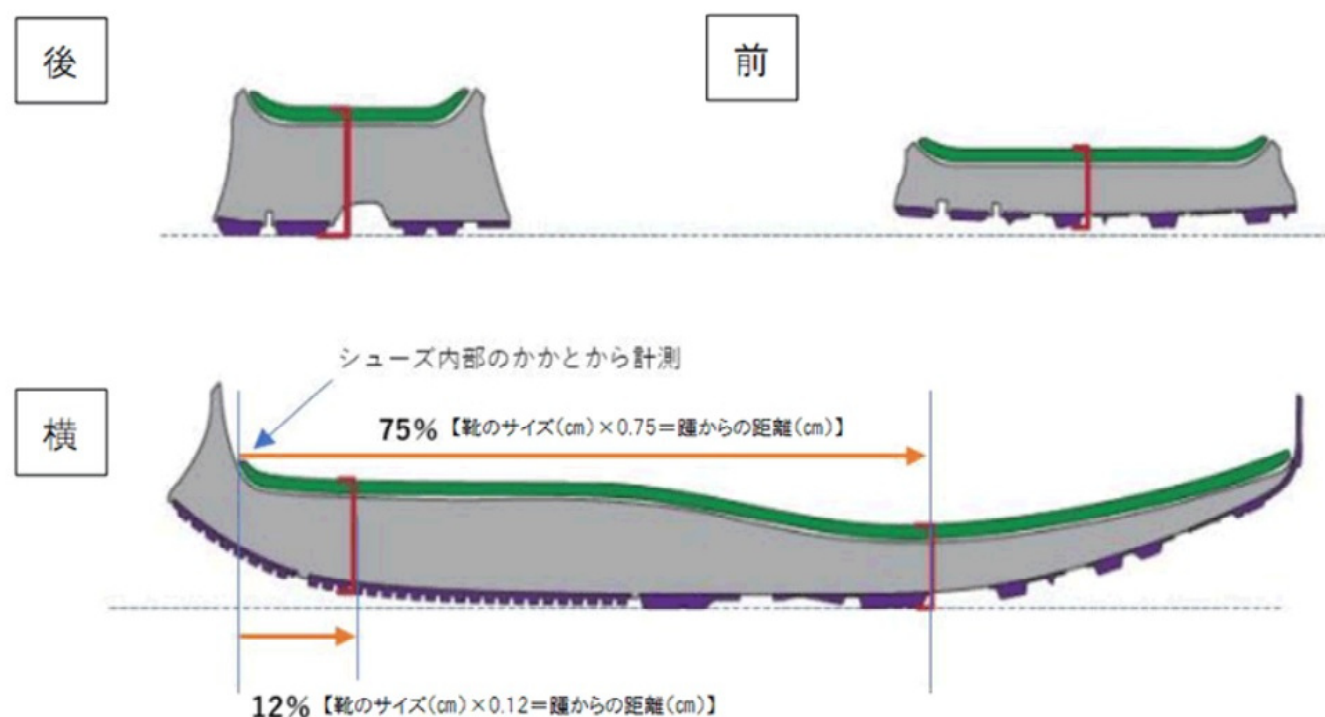
国内トップレベルの選手が出場する競技会、WAラベル大会などでは、主催者が招待選手などの一部選手に対して、使用予定シューズに関する申告書の提出を求める場合がある。主催者より申告書の提出が求められた場合、参加者は申告書の提出に協力すること。また、WAよりシューズの提出が求められるケースもある。

## 靴底の厚さ (TR5.13.3)

▼最大の厚さは、26.5cm～27cmを基準としています。

種目	靴底の最大の厚さ	要件・備考
フィールド種目 (三段跳を除く)	20mm	三段跳を除く全てのフィールド種目に適用。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競争を含み、800m以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。競技場内で行う競歩競技の靴底の最大の厚さは、道路競技と同じとする。
クロスカントリー	25mmスパイクシューズ または 40mmノンスパイクシューズ	
道路競技 (競走・競歩)	40mm	
マウンテンレース/トレイルレース	制限なし	

## 靴底計測場所



## 道路競走（マラソン・駅伝）での適用（2021/2/22）

公認競技会において、本連盟の登録会員かつ以下の参加資格記録を有する競技者は、靴底の厚さの測定をレース前に測定して参加する。

また、レース前に対象になっていなくてもレースにおいてこの記録を達成した競技者はレース後に靴底の厚さを確認する。

▽学生・一般を対象とした陸連公認道路競走(WA 公認コース)での靴底厚計測対象記録

	5km	10km	15km	10マイル	20km	ハーフ マラソン	30km	フル マラソン	100km	駅伝
男子	14:30	28:50	45:00	49:00	1:00:20	1:04:00	1:36:00	2:21:00	すべて	計測不要
女子	16:00	35:00	53:00	57:00	1:13:00	1:18:00	2:00:00	2:56:00	すべて	計測不要

（注1）

日本ランキング 200 位相当に記録設定する。

（注2）

中高生対象／普及目的の 5km、10km といったレースは対象外とする。

（注3）

駅伝競走は、記録については一部の競走を除いて公認されない。

そのため規則第 143条 5,13については非適用とし、靴底の計測は行わなくて良いこととする。

※適用競技会＝ロードリレー(42.195kmの公認マラソンコースを用いて、5km,10km, 5km,10km,5km,7km195の区間で行うもの。世界記録公認の対象)

## フィールド競技用シューズ適用除外措置（2021/4/5）

以下の理由から一部の競技会において、主催者の判断で本規則を適用除外とすることを可能とする。

＜理由＞

既に流通しており国内においても使用している競技者が多数いること。

価格も高価で買い換えを強要することは競技者の負担になること。

前足部の靴底厚を測定する際には、現状、他種目の靴底厚計測器を用いた場合、靴紐をほどくこととスパイクピンを取り除くことが必要になり、招集所等で長時間を要することになる。（大型キャリパーのような特殊な計測器具が必要になる）

＜対象期間＞

適用除外の期間は、2023年 3 月 31 日まで

（規格に準じた新たなシューズへの切り替えのための期間として）

＜適用競技会＞

日本中体連陸上競技専門部とその下部組織が主催・共催する競技会

全国高体連陸上競技専門部とその下部組織が主催・共催する競技会

日本学生陸上競技連合とその下部組織が主催する競技会

各加盟団体の主催する競技会で主催者が適当と判断した競技会

＜記録の取り扱い＞

国内でのみ通用する記録として取り扱うこととする。

つまり当該種目については WA への申請も行わず、国際競技会への参加資格とはならないことを参加者が了解する必要があるため、大会要項等に記載する必要がある。

WA の規則に則らないため、アジア記録、世界記録としては認められない。

地域、世界レベルの国際競技会への参加資格としては認められない。

ワールドランキングの対象記録としては認められない。

＜靴底厚確認作業＞

この適用により招集所において、フィールド競技用シューズの靴底計測は不要